

6年	単元名	未来がよりよくあるために	6時間
単元の目標	○話し合いで深めた考えをもとに、構成を工夫して、自分の意見を伝える文章を書くことができる。 ○互いの考えの違いや意図をはっきりさせ、建設的に話し合うことができる。 ○書いた意見文を発表しあい、自己評価することができる。		
日本語の目標	「なつたもだ」(なげなら、たとえ、もし、だから)を使って、意見を言う。		
学習課題	意見を聞きあって考えを深め、意見文を書こう。		
主な学習活動	・自分の未来、社会の未来について考え、話し合う。 ・友達と質問、意見を言い合い、考えを深める。 ・「なげなら」「たとえ」「もし」「だから」を使って、自分の意見をはっきり伝える意見文を書く。 ・意見文の発表、内容を振り返り評価する。		

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
	家庭学習課題	- 自分の未来と未来の社会を想像しよう。 - ワークシート：100歳までの未来と社会を想像してくる。	
1	学習課題をつかむ	めあて <u>自分と社会をどんな未来にしていきたいか考えよう</u>	- 様々な未来を友達と共有し、分類することにより、それぞれの考えを広げ、深める。 - ポスター用紙、付箋を使ってそれぞれの意見を整理する。
2	学習計画を立てる	- 意見文のテーマを決定する。 100歳までの自分と社会の未来をペアで伝え合う。 - 考えた未来をグループ・クラス全体で共有し、「社会⇔自分」「残す⇔想像する」チャートに書き込む。	
	意見文の構成を知る	- 意見文構成を学習する。 「なつたもだ」作文の紹介、「なつたもだ」作文を1文書く。 - ペアで伝え合う。 - 資料「平和のとりでを築く」・漢字 - 教科書資料(pp.100-104)の文章を段落分けする。 - 漢字を学習する。	「なげなら」「たとえ」「もし」「だから」の構成を学習することにより、意見文の普遍的な伝達の方法を知る。
	家庭学習課題	- 家庭学習課題の内容を確認 - 意見文練習の残りの課題を完成してくる。 - ビブリオバトルの課題図書を選び、準備してくる。	
	学習内容を深める	- ビブリオバトル - 課題に関連した本について発表する。	「未来」に関する様々な本を紹介する。(教科書 p.245)
3	意見文の内容を練る	めあて <u>自分の考えがはっきり伝わるように、意見文を書こう</u>	- 友達の意見の内容に対して否定的な発言をせず、建設的に話し合えるよう注意する。 - 評価ルブリックをあらかじめ共有することにより、到達目標を確認する。
4	到達目標を確認する	- 意見文の内容の推敲 - 意見文の案をグループで発表し、質疑応答を行う。 - 友達からの質問や助言をもとに、意見文を推敲する。 - 推敲した意見文で、グループを変えて再び発表する。 - テーマの選択 - テーマを絞り込み、文を増やして、より具体的な内容に仕上げる。 - 評価ルブリックを提示する。 - 資料「平和のとりでを築く」・漢字 - 資料段落をグループで担当し、クイズをつくって発表する。 - 漢字を学習する。	
	家庭学習課題	- 家庭学習課題の内容を確認 - 意見文の発表会に向けて、作文を手直しする。 - 意見文の発表会に向けて、ポスターを作る。	
5	意見文を発表する	めあて <u>意見文を発表して、内容や構成を振り返ろう</u>	- 発表会そのものではなく、発表会のために練習するプロセスを大切にする。相手を変えて何度も練習することにより、発表に慣れる。 - ポスターをもって発表することにより、原稿を読み上げることが防げることができる。
6	学習を振り返る	- 意見文の発表会 - ペアを変えながら、何回か発表練習を行う。 - ポスターセッション形式でクラス発表会を行う。 - 評価ルブリックで自己評価を行う。 - 意見文の発表や内容でよかったことなどをクラスで話し合う。	
<バリエーション> ・事前準備 : 身の回りの家族に「過去」から「現在」までの移り変わりで、どのようなものが変わったのか、変わらなかったのかをインタビューする。 ・「つかむ」・「書く」段階 : 「なつたもだ」作文の形に慣れるため、毎回即興スピーチを行う。 ・「発表する」段階 : <参考> 知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト http://www.bibliobattle.jp/			